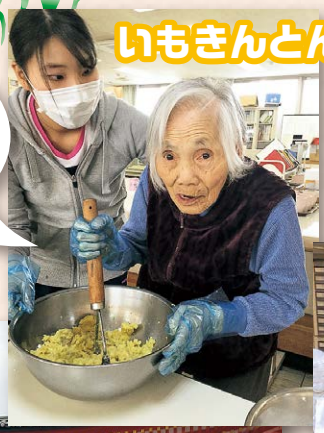
2020年３月発行

カーネーション はなだより

No.017

社会福祉法人 聖隷福祉事業団　〒656-2311 兵庫県淡路市久留麻1863番地
聖隷カーネーションホーム　TEL:0799-74-6175
聖隷ケアプランセンター淡路　TEL:0799-75-2075
聖隷在宅介護支援センター淡路　TEL:0799-75-2100
障害者相談支援事業所 聖隷はぐくみ　TEL:0799-75-2105
FAX:0799-74-6176（共通）

おいしいの
つくるから
待っといて



いもきんとん作り

久留麻神社へ初詣

お正月おせちメニュー

聖隷カーネーションホーム　入居

お正月に、希望者に対して久留麻神社への初詣を行いました。寒い中でも今年一年間の健康祈願をしっかり行いました。また、職員と利用者様が共同して育て、秋に収穫したさつまいもを使用した「いもきんとん作り」を行いました。甘さいっぱいのやわらかいおやつに笑顔があふれ、さつまいも作りに携わった利用者様にはおいしさもひとしおなご様子でした。

聖隷カーネーションホーム　デイサービスセンター

デイサービスセンターうっとこでは、元日に八浄寺へ初詣に行きました。八浄寺は、淡路島七福神巡りの一ヶ所でもあり、皆様「七福神全部巡りたいね」と話されておりました。昼食は、特別おせちメニューで、職員も一緒になり会話もはずみ、楽しい時間を過ごしました。「お正月から豪華でうれしいね」と皆様おっしゃられておりました。

第１回淡路地区聖隷福祉学会が開催されました

令和元年11月５日（火）、聖隷こども園夢舞台にて第１回淡路地区聖隷福祉学会が開催されました。この学会は淡路地区の施設・在宅分野の各事業所が取り組んできた事を発表し、学びの共有や相互交流を目的として始められました。当施設からは、介護サービス係が「排泄ケアの見直しと新たな取り組み」について発表しました。また、令和２年２月22日（土）には、浜松で開催される第18回聖隷福祉学会にも参加しました。今学会参加をきっかけに、介護サービス係一同、今回の研究での課題はもちろん、利用者様へのサービスをより向上すべく体制づくりに取り組んでいく所存です。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

防災訓練（停電時の食事提供）

カーネーションホームでは毎月防災訓練を行っています。火災時訓練、搬送訓練など行っていますが、この度初めて停電を想定した食事提供訓練を行いました。停電になった時に提供する非常食を実際に調理し、利用者様へ提供し食べてもらいます。

参加した職員からは、防災意識が高まったと声がありました。これからも、防災訓練を定期的に行い、非常時に対応できるように努めてまいります。

＜防災食メニュー＞
湯を入れるだけで炊ける
お米と缶詰カレー

１年間を振返って

聖隷カーネーションホーム 入居

年間行事の紹介

園内での行事

４月	お花見、お花見ランチ
５月	さつまいも植え、こいのぼりしク
６月	そば打ち作り
７月	七夕まつり（流しそうめん）
８月	夏祭り （かき氷・輪投げ・ボーリング大会）
９月	敬老会（表彰・園児の踊り）
10月	秋祭り
11月	秋の大運動会 （玉入れ・ボール運び・せんべい食い競争） さつまいも収穫、紅葉カフェ
12月	忘年会（すき焼き・バンド演奏） いもきんとん作り
１月	初詣（久留麻神社、かぁね神社）
２月	節分まつり(鬼退治、豆まき) 白玉ぜんざい作り
３月	ひなまつり（さくら餅）

家族介護者交流事業に参加して

淡路市地域支援事業の一つとして【家族介護者交流事業】があります。

この事業は、自宅で介護をされているご家族様が施設見学や食事会を通して心身のリフレッシュを図り、介護者同士の交流を深める事を目的としています。

昨年11月に行われた交流事業では神戸市にあるハーバーランド　アートビレッジセンターで映画鑑賞と食事会を行いました。

参加された家族様からは、バスの車内や食事時間に質問をしたり共に介護をする立場として、会話が弾み短い時間ではありましたが楽しい時間を過ごして頂けたと思います。

参加は岩屋・東浦・北淡地区在住で高齢者等を介護されている家族様であれば可能ですので、聖隷在宅介護支援センター担当者まで、お気軽にご相談ください。

上記写真は高齢者施設職員より説明を受けています。

栄養士紹介

管理栄養士
山岸　茉奈実

11月からカーネーションホームに異動となりました、山岸茉奈実です。

異動前は健診施設に勤務していたため、全く異なった分野への異動に戸惑いましたが、ご利用者様や職員の皆様に温かく支えていただき、少しずつ出来ることが増えてきたように感じます。日々、感謝の気持ちを忘れずに、業務に励んでいきます。

カーネーションホームでは元旦にご入居者様へおせち料理の提供を行いました。

「鰤の照り焼き」はスベラカーゼミートに漬け込み、きざみ食の利用者様へも魚の形状を保ったまま提供が可能となりました。

スベラカーゼミートは酵素の作用で肉や魚、野菜等を柔らかくし、食事の幅を広げることができます。ご利用者様に食事を楽しんでいただくために活用の頻度等を検討していきたいと考えています。

聖隷カーネーションホーム デイサービスセンター　リハビリ実施の報告

デイサービス利用時に個別機能訓練（リハビリ）を行った利用者様の約１年間の報告をします。

＜デイサービス利用開始時＞

自立支援へ繋げて

2018年12月

- 腕の支えがなければ立ち上がりができない・立った時の安定が悪い
- 左膝を曲げられない（装具着用）・すぐに疲れる
- 週２回のリハビリ実施（2019年５月より週４回へ変更）

＜目標＞

①トイレ動作ができる　⇒（2019年10月　目標達成!!）
②浴槽をまたぐ動作ができる　⇒（2019年11月　目標達成!!）

追加目標

③2020年４月までにトイレへ歩行器で歩いて行くことができる

＜リハビリ内容＞

- 立ち上がり練習・バランスをとる練習（両足・片足）
- 段差での上り下り・体重移動の練習
- エアロバイクでの足こぎ(下肢筋力をつける)
- ピックアップウォーカーでの歩行練習

リハビリ担当者感想

利用者様は、春になり暖かくなれば、体も動きやすくなるだろうと楽観的に捉えており、具体的な取り組みをしていくことが必要であることが分かった。

これからは訪問リハビリとも連携しながら、家で安全にできる自主訓練(ベッドからの立ち上がり等)もしていきたいと思う。

2019年度(令和元年度)振り返り

皆様方におかれましては時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、当施設のことにつきまして日頃よりご理解・ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

元号が平成から令和に変わり、直近では新型コロナウィルスの脅威が世間を騒がせている本年度もまもなく終わり、東京五輪が開催される令和２年度に移ろうとしています。

聖隷カーネーションホームでは、「安全・安心を提供し続けられるためのサービスの質的向上」、「多様な福祉人材が活躍できる環境整備」、「効率性･生産性の向上」等に注力し、サービス面では医療依存度の高い方や重度の認知症の方への対応力の強化、在宅生活継続のためのリハビリ・機能訓練の充実等に努めて参りました。基本的な方向性は新年度でも踏襲していきますが、国内では全産業を通じて労働力が不足し、介護分野では特に深刻な問題となっています。そのため、人材の育成と確保には引き続き力を入れる一方で、IoT技術を応用した省力化や、より介護負担を軽減できる機器・ご利用者の安全性をより高める機器への更新または導入を推進し、「介護する側にも介護を受ける側にもやさしい施設」を目指して介護現場を改革していくことに重点を置いて参ります。

これからも「年齢や障がいの有無に関係なく、利用者も職員も共に幸せになる（＝ともに咲き続ける)」ことができる施設を目指して、職員一同鋭意努力を重ねて参る所存です。皆様方におかれましては、今後も旧来同様にご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

聖隷カーネーションホーム　園長　　田　村　　健

介護川柳

職員、ご利用者様、ご家族様へ
介護川柳を募集しました。

<最優秀作品>

訪問日　待ってましたと　笑顔咲く　（ペンネーム：Karo）

<優秀作品>

孫が来て　豊かな表情　よみがえる　（ペンネーム：samo©）

デイルーム　笑顔の花を　咲かせたい　（ペンネーム：山盛りポテト）

触れ合えば　気持ちつながる　あたたかさ　（ペンネーム：抹茶オーレ）

ありがとよ！　ところであんた　どなたさん　（ペンネーム：moonボーン）

編集後記

春草萌えいづる季節を迎えるようになりましたが、おかげさまで聖隷カーネーションホームは、今年の４月で６周年を迎える事になりました。今年度は介護負担軽減のための新たな福祉用具の導入、体験型介護講座は調理実習や腰痛になりにくい介助方法の紹介など、新たな取り組みを行った１年となりました。また、広報誌記事では利用者様特集をさせてもらい、生活のご様子もお伝えさせて頂きました。このように広報誌をお届けできるのも、日頃から聖隷カーネーションホームをお支え下さっている皆様のおかげで、感謝の気持ちでいっぱいです。末筆ながら、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。次号もご期待ください。

2019年度 広報委員

ご意見･ご要望苦情について

今回、広報紙にて公表べき苦情はありませんでした。
また、ご意見、ご要望もございませんでした。
（苦情解決委員会）

※この広報紙に掲載させていただいたお写真はすべてご本人様・ご家族様のご了解をいただいています。